

第15回外務省政策会議 (概要記録)

日時：2月3日 17:15～18:30

場所：衆議院第2議員会館 第4会議室

出席議員の概数：12名程度

議題：

- (1) アフガニスタンに関する国際会議、イエメンに関する国際会議、第16回アフリカ連合(AU)閣僚執行理事会への出席報告
- (2) 駐欧州・国連関係国際機関大使との意見交換
- (3) その他

外務省からの報告

1. 福山副大臣の出張報告【福山副大臣】

福山副大臣から、アフガニスタンに関するロンドン会議出席、イエメンに関するロンドン会議出席及びエチオピア訪問(第16回AU閣僚執行理事会出席等)の概要を配布資料に基づき説明。

2. 駐欧州・国連関係国際機関大使の報告

(1) EUのリスボン条約発効と対欧州外交について (高橋駐スペイン大使)

配付資料に基づき説明。

(2) 最近のロシア情勢 (河野駐ロシア大使)

配付資料に基づき説明。

(3) 日本の国連外交の主要課題 (高須国連代表部大使)

配付資料に基づき説明。

(4) 軍縮をめぐる最近の動向 (須田軍縮代表部大使)

配付資料に基づき説明。核軍縮をめぐる状況につき補足。

(5) 他の出席大使からの報告

(雨宮駐ルーマニア大使)

ルーマニアは、日本語や武道、囲碁などを中心に、かつてなく日本に対する関心が高まっている。

(竹田駐ブルガリア大使)

ブルガリアは、かつてのODAの効果もあって大変な親日国。09年7月に政権が変わったが、議員交流の活発化をお願いしたい。

(明石駐リトアニア大使)

リトアニアでは、草の根無償による美術館や音楽学院への援助が地元住民にも大変感謝されており、対日関係が良好である。

(伊沢駐ウクライナ大使)

ウクライナは、4600万人の人口を擁し、大きな可能性を有している。現政権はEU、NATOへの加盟を目指す政策を優先的に進めていたが、2月7日に行われる大統領選挙決選投票でどちらの候補が当選しても、EUとロシアのバランスをとった外交を進めると見られている。

(中根ウィーン代表部大使)

ウィーン国際機関代表部では、原子力、麻薬、犯罪について扱っている。核不拡散及び原子力の平和利用を推進するIAEAは、北朝鮮問題を抱え、原子力の平和利用を推進する日本にとり重要。

(安藤駐イタリア大使)

日本は、ファッション、食べ物、サッカー、スポーツカー等でイタリアへの関心が高く、イタリアへの観光客やイタリア語学習者も多い。これに対し、日本に対するイタリア人の好感度は高いが、日本への観光客や日本語学習者はまだ少ないなど日本理解が不足している。日本文化をツールとしてイタリアにおける日本理解を促進したい。

3. 2月の政策会議(課題別意見交換)【福山副大臣】

2月は配付資料のとりの日程で、課題別意見交換の政策会議を行っていきたい。

． 質疑応答

1. EU関連

(質問・コメント)

- ・ 米国とEU・欧州は、金融政策等において、対立関係にあるのではないか。
- ・ EUとEU加盟国との関係についてどう見るか、説明して欲しい。
- ・ 死刑廃止問題の観点からEUとの関係について、説明して欲しい。

(回答：高橋駐スペイン大使)

- ・ 米国の政権交代もあり、米国と欧州は、金融問題でのG20等での連携も含め、互いに協力してグローバルな課題に対応している。
- ・ EUと加盟国の関係については、中小国の中にはEUに超国家的性格を追求する傾向が、大国にはEUをあくまでも国家連合として見る傾向がある。
- ・ 死刑問題について、EUと日本の立場は異なる。我が国については、国内世論がEUの立場をどう受け入れるかという課題がある。

2. ロシア関連

(質問・コメント)

- ・ ロシア国内のテロの状況について説明して欲しい。
- ・ プーチン首相に対する批判をどう見るか。
- ・ ロシアの宗教界の状況について説明して欲しい。

(回答：河野駐ロシア大使)

- ・ ロシアでのテロはイスラム教徒の多い北コーカサスに集中しているが、テロの根源的な引き金の一つは貧困である。イスラム原理主義の組織的な活動については確認されていない。
- ・ プーチン首相とメドヴェージェフ大統領は良く連携しているが、その周辺人物が互いを批判することがあると見ている。
- ・ ロシア正教はロシアとその外縁地域をまとめる力を持つ。他方、09年にローマ法王庁との国交関係樹立が合意され、カトリックとの関係も改善している。

3 . 国連関連

(質問・コメント)

- ・ 米の国連政策、クリントン国務長官の女性・児童問題への関心が深いことについての見解如何。
- ・ 国連の分担金・拠出金が削減されているが、安保理常任理事国を目指すのに、減らしてしまっているのか。

(回答：高須国連代表部大使)

- ・ 米国のオバマ政権は国連重視。米は核軍縮決議の共同提案国になった。核軍縮に関する安保理首脳会合で、米国大統領が議長をすることは前政権では考えられなかった。クリントン国務長官はニューヨークの国連本部を頻繁に訪れ、紛争で最も被害を受ける女性、児童といった文民保護に熱心である。
- ・ 我が国の国連分担金率は、昨年12月に厳しい交渉の末、16.624%から12.530%に下がった。我が国の国連通常予算の分担は経済力を反映して下がる。他方、拠出金については、我が国の財政状況が厳しい中でも例えば人間の安全保障重視等、めりはりをつけて拠出を行っていく。人や知恵の面でも貢献することが重要。

4 . 軍縮関連

(質問・コメント)

- ・ 特定通常兵器使用禁止制限条約 (C C W) に日本はどのように取り組むのか。
- ・ N P T 運用検討会議について、日本はどのようにすべきと考えているのか。

(回答：須田軍縮代表部大使)

- ・ クラスタ弾に関する条約は未発効だが、日本は未批准国に働きかけをしている。対地雷禁止条約に関する昨年12月のカルタヘナ・サミットには、政府のみならずNGOの方々も参加され、犠牲者支援において存在感を発揮した。クラスタ弾については、C C Wにおいても主要国も入れるより柔軟な条約を作成すべく協議している。また我が国は、英国とともに武器貿易条約の明後年の条約会議開催に向けて、積極的な役割を

果たしている。

- ・ 鳩山総理も国連演説で言及されたように、我が国は被爆国であるとともに核兵器を作る能力はあるが持たない選択をした国として、来るNPT運用検討会議において核軍縮・平和的利用の三本柱全てにおいてできるだけ高いレベルの合意を求めていく。また我が国は、西側であるがアジアの国であり、核軍縮において主要な役割を果たしていく。

5. ハイチへのPKO派遣

(質問・コメント)

- ・ 安保理決議第1529号のマンデートで国連ハイチ安定化ミッションに施設部隊を派遣できるのか。新しいマンデートを作るべきではないか。

(回答：高須国連代表部大使)

- ・ ハイチの場合、安保理決議第1529号に基づき、地元の治安安定化のためにPKOが派遣され、ハイチの国家警察の育成を行っていたところへ地震の被害にあったもの。韓国も施設部隊の派遣する予定であり、日韓で協力することにも意義がある。マンデート見直しの意見は安保理にもある。財政面のみならず、人的にもバランスのとれた貢献をすることが重要。

6. その他

(コメント)

- ・ 各大使より現場の声を聞けるのは大変貴重な機会。もっと時間を割いて、じっくり話を聞きたい。
- ・ 各大使による現地での外交活動を後押しするためにも、議員外交を活発化していくべき。

(了)